

校訓:「創造」「根気」「協力」 教育目標:「ゆたかにきずき あしたをになう ～心やさしく 大らかに～」



野中清水

仙北市立神代中学校 学校報
No.1 令和4年4月6日(水)

令和4年度がスタート

今年度創立から78年目を迎える仙北市立神代中学校は、決意も新たに令和4年度をスタートさせました。

今日の始業式では、生徒に先日まで行っていた全国選抜高校野球大会開会式での倉敷工業高等学校野球部福島主将の選手宣誓の言葉を紹介し、多くの人の支えによって、こうして始業式を迎えられることやそれぞれが目標をもてることの幸せに感謝するとともに、最後まであきらめず取り組んでいきましょうと呼びかけました。

大きな志をもちスタートしたわけですが、思春期まっただ中にある子ども達は、多くのことに一喜一憂しながら中学校生活を送るものと思います。どうかこれまで同様、お子様の支えとになっていただきますようお願い申し上げます。私たち教職員も精一杯努力してまいりますので、変わらぬご支援・ご協力の程よろしく願いいたします。

心配なこと・疑問に思うこと等ございましたら遠慮なさらずに学校(44-2110)までご連絡ください。

福島選手の宣誓文

「夢と志が人生をつくる。当たり前だった日常が失われて、3年が経ちます。今なお、世界中でパンデミックが起こり、多くの人たちが苦しみや困難に立ち向かっています。それでも私たちは一歩ずつ歩んできました。甲子園に立つまでに、たくさんの方々に支えてもらいました。今、野球ができるのもその人たちのおかげです。聖地・甲子園という舞台上に立てることに感謝します。大好きな野球ができることに感謝します。

そして、私たちの最大の理解者、応援してくれている家族に感謝します。ありがとう。夢や志を持ち続け、これからの未来に向かって一日、一分、一秒を大切に歩んでいきます。ファイティングスピリット、フレンドリーシップ、フェアプレー。甲子園に立つ喜びを胸に、最後まであきらめることなく、正々堂々プレーすることを誓います。」

学校教育目標

「ゆたかにきずき あしたをになう」
～心やさしく 大らかに～

昨年度、「思いやりの心で行動し、将来の夢に向かって努力する 今」の学校教育目標の下、生徒のみなさん、保護者・地域のみなさん、そして教職員が一体となって取り組み、大きな成果を残しました。すばらしかったです。

今年度は、昨年度の実績を土台とし、さらに生徒が成長していけるよう、校歌の一節をいただき、地域のみなさんの願いも込めた教育目標としました。

校歌は創立時に作成され、次代を担う子どもたちに、学力はもちろん、将来生きていくために必要な力を毎日の生活の中で学び、それを確かなものとしてバトンを次のステージにつなげ、やがて一人の社会人として大きく成長し、ふるさと神代はもとより、広く社会全体に貢献できるたくましい人間に育ててほしいとの願いが込められているものと感じています。時代は変わってもこの思いは普遍のものだと思っています。この願いを叶えられるよう、新たな学校教育目標の下、精一杯取り組んでまいります。

※ゆたかにきずき…校歌一番

あしたをになう…校歌二番

※心やさしく大らかに…創立当時の教育方針である「心はやさしく、大らかに、文武両道」から引用

日々の学校生活の様子を Web日記で紹介します

本校では、ホームページを開設しています。その更新は市情報支援員によって月に2回程度となりますが、同ページ内の「Web日記」は不在時を除き随時更新予定してまいります。

短い記事ですが、是非ご覧ください。

